

(2) 施設基準等(複数回答)

改定前(平成18年3月以前)に届け出ていた施設基準と、改定後(平成18年4月以降)に届け出ていた施設基準については、次のとおりであった。

下表では「現在施設基準を届け出ている医療機関」が「過去に届け出ていた施設基準」の状況を示している。そのため「過去に施設基準を届け出ていた医療機関」で「現在施設基準を届け出ている医療機関」の状況については、下表から読み取ることはできず、別途把握する必要がある。

全回答施設のうち、現在届け出ているリハビリテーション施設基準については、「運動器リハビリテーション料(I)」(651施設)と最も多く、次いで「脳血管疾患等リハビリテーション料(II)」(545施設)となっている。

これらの施設が改定前に届け出ていた施設基準については、「理学療法(II)」(522施設)と最も多く、次いで「言語聴覚療法(II)」(211施設)となっている。

改定前に心疾患リハビリテーション料を算定していた施設が49施設あり、改定後に心大血管疾患リハビリテーション料(I)または心大血管疾患リハビリテーション料(II)を算定している施設が45施設となっていることから、4施設は今回の改定によって心大血管疾患リハビリテーションの施設基準を取らなかったものと考えられる。

図表 6.1-8 改定前の施設基準と現在の施設基準(複数回答)

	現在届け出ているリハビリテーション施設基準(複数回答)																
	(回答施設数)	心大血管疾患リハ料(I)	心大血管疾患リハ料(II)	脳血管疾患等リハ料(I)	脳血管疾患等リハ料(II)	言語療法のみを言う	脳血管疾患等リハ料(II)	運動器リハ料(I)	運動器リハ料(II)	呼吸器リハ料(I)	呼吸器リハ料(II)	回復期リハ病棟	入院料	難病患者リハ料	障害児(者)リハ料	ハンディキャップ	無回答
件数(回答施設数)	855	57	45	228	4	545	651	206	392	183	89	7	16	11			
改定前に届け出た施設基準(複数回答)	総合リハビリテーション施設	172	26	11	161	1	10	167	4	137	8	64	3	9	2		
	総合リハビリテーション施設A	151	22	10	143	1	8	149	3	122	7	56	2	6	1		
	総合リハビリテーション施設B	20	4	1	17	0	2	17	1	14	1	8	1	2	1		
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	心疾患リハビリテーション	49	32	13	28	0	15	40	5	37	3	6	0	2	0		
	理学療法または老人理学療法	656	29	29	66	2	520	468	197	251	167	25	4	9	8		
	理学療法(II)	522	26	21	64	1	442	398	138	239	136	23	3	8	4		
	理学療法(III)	82	2	6	1	0	67	40	43	11	27	2	1	1	2		
	理学療法(IV)	50	1	2	1	1	11	30	16	1	4	0	0	0	2		
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	作業療法または老人作業療法	198	12	10	62	1	135	172	25	113	38	22	2	7	1		
	作業療法(II)	193	12	10	62	1	132	171	23	112	38	22	2	7	0		
	作業療法(III)	3	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1		
	作業療法(IV)	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	言語聴覚療法	316	30	20	172	4	141	275	33	203	36	66	4	13	1		
	言語聴覚療法(I)	85	11	5	78	2	7	82	3	62	4	38	3	8	0		
	言語聴覚療法(II)	211	19	11	93	2	120	181	27	131	30	28	0	3	0		
	言語聴覚療法(III)	17	0	4	1	0	14	12	3	10	2	0	1	2	1		
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
難病患者リハビリテーション料	9	0	1	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1	0			